

上文振第38866号
令和2年11月12日

高田区地域協議会
会長 本城文夫様

上越市長 村山秀幸
(企画政策部文化振興課)

(仮称) 旧今井染物屋の管理の在り方について (通知)

令和2年10月21日付けで答申のあった諮問第59号(仮称) 旧今井染物屋の管理の在り方について、下記のとおりとしますので、お知らせします。

記

諮問のとおり(仮称) 旧今井染物屋の管理の在り方について、令和2年上越市議会12月定例会に所要の条例案を提出します。

なお、答申の理由とされた内容を再検討した結果について、次のとおり回答します。

- 市は当該施設について、高田小町周辺エリアの魅力向上を図り、街なかへの誘客と回遊を促し、賑わいの創出を図ることを事業目的としています。その視点から考えると、周辺の施設(町家交流館高田小町、ミュゼ雪小町など)が午前9時開館であることも踏まえ、例えば、朝市にきた地域住民や観光客からも寄ってもらえるような開館時間にするなど、休館日も含め、状況に応じて柔軟な対応がとれるよう再検討をお願いします。

(回答)

- ・当施設は、市の文化財として保存するとともに、雪国高田の風土産業であるバテンレースを基軸とした常設工房を設置するなど、地域文化の継承・発信を行う拠点施設として運用していくこととしています。
- ・当施設を単なる貸館・見学のための施設ではなく、こうした地域文化の継承・発信施設として効果的・効率的に運営していくという観点に加えて、現在の高田駅周辺地区における人の動きも勘案し、改めて諮問のと通りの開館時間及び休館日が適当であると判断したところであります。
- ・このほか、これまでと同様に団体や学校等から開館時間外や休館日における見学、体験等の希望があった際は、状況に応じて対応してまいります。



町部まちづくりセンター

・なお、こうした判断に至った経緯としては、次のとおりであります。

当施設では、開館後、バテンレースを製作し製品に仕上げる作業の一端や、材料となるブレードを作る織機を稼働させている様子など、実際のバテンレースの製作過程等を来館者にご覧いただくことを予定しています。

そのためには、専門的な技術を有するバテンレース従事者ができる限り在館し、実演展示できる体制を整えていくことが必要となることから、当施設の供用開始に向け、この間、市内のバテンレース事業者と協議を重ね、最大限の協力をいただくことを確認してきました。

実際の運営に当たっては、当該事業者の人員体制にも配慮する必要があり、協議を進める中で、実演展示を安定的に継続していくための現実的な対応を考慮したものであります。

あわせて、高田駅周辺地区における午前中の人々の動きの実態を改めて確認し、上記の判断に至ったところであります。